

新飯能

発行 党 日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401子
山田とし
973-4710み
新井たたく
978-0175む
滝沢おさむ
972-3875

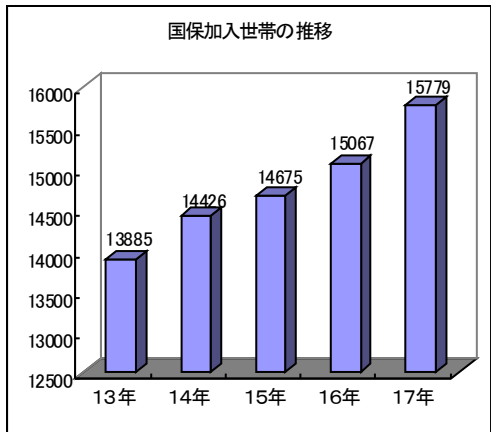
<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

国保 不安定雇用で国保加入が急増

企業のリストラ、倒産や派遣・パート労働などの非正規職員の増大で、飯能市の国民健康保険加入世帯が急増しています。平成十三年度の国保加入世帯は、一三八八五世帯でしたが、十四年度・一四四二六世帯、十五年度・一四六七五世帯、十六年度・一五〇六七世帯、十七年度・一五九七九世帯と五年間で二〇九四世帯(名票を含む)の増加となっています。暮らしがぎりぎりの中で、高額な保険税が払えず滞納となる世帯が増え、滞納世帯の中で一般の保険証から有効期限六ヶ月、三ヶ月の短期保険証を交付されている世帯は八五二世帯で、その内納税相談を行っている一般保険証に切り替えた人が四一〇世帯となっています。

このような中で連絡もつかず短期保険証も届いていない人が四四二世帯にも達しているのは問題です。これは、現在市が

「悪質滞納者」として十三世帯に、病院窓口で全額自己負担の「資格証明書」を発行しているのと同様に、「保険証がない」「病院に行きたくてもいけない」事態が進行し、「国民皆保険制度」が事実上壊されていると言えます。



問題です。これは、現在市が

マスコミに特集で報道

昨年末から年初めにかけて、国保税の収納対策として、国が平成一二年から自治体に交付を義務付けた「資格証明書」の発行に関する記事が新聞の一面に掲載されました。昨年一二月二九日埼玉新聞では、「国保停止一人死亡」保険税滞納で保



九日、成人の日に式場の

成人式に

九条の会飯能が憲法を守るつとを宣伝

九日、成人の日に式場の市民会館で、憲法をまもる「九条の会・飯能」が宣伝行動を行いました。昨年十月に飯能でも、大学教授や弁護士、税理士、振付家、医師、彫刻家、児童文学者、市内の団体を中心に「9条の会・飯能」を立ち上げ活動を始めました。会場の市民会館で

九日、成人の日に式場の市民会館で、憲法をまもる「九条の会・飯能」が宣伝行動を行いました。昨年十月に飯能でも、大学教授や弁護士、税理士、振付家、医師、彫刻家、児童文学者、市内の団体を中心に「9条の会・飯能」を立ち上げ活動を始めました。会場の市民会館で

午後五時(日)二時、飯能市民会館202号室「憲法・ミュージカルと私」講師 間野寿恵子さん(振付家・前ケ貫在住) 四月二三日(日)二時、飯能市民会館202号室「太平洋戦争と英語教育」講師 鏡味国彦さん(元大学教授・美杉台在住)

2006年
新春のつどい
1月22日(日)正午

中央公民館ホール
会費 2000円
一部 記念講演 国会議員(要請中)
二部 津軽三味線などの余興、各後援会からの出し物多数
主催：党飯能市委員会、同後援会



紋

長野県栄村の「ふるさとマップ」に「この地域は積雪量が日本一(7m85cm)を記録したこともある日本有数の豪雪地帯です。秋山郷は江戸時代の文人鈴木牧之の著した「秋山紀行」で初めて世に紹介されました。今でも先人の知恵と技を受け継いだ独特の文化が根強く残っており、村の随所で歴史の重みを感じられるでしょう。とあります。去年の秋、車で通った国道405号線も稀に見る豪雪で全面通行止めになっていたと言います

▼鈴木牧之は「北越雪譜」の中で暖国と雪国を比較して「雪を悲しむは辺境の寒国に生まれたる不幸と云うべし。雪を観て楽しむ人の繁花の暖地に生まれたる天幸を羨まざらんや」と書いています。ことしの豪雪を思うと思いは複雑です▼それにしても豪雪での死者が八十名近くになっているというのに救援体制が不十分なのが気になります。自治体は予算を使い切って悲鳴をあげ、お年寄りが必死に雪に埋もれた過疎の地域をささえ、助けを求めているのに、それすらも自己責任とでもいうのでしょうか。

山間地の光ファイバー通信

十二%六八二世帯で希望

飯能市総合政策部政策企画課では、吾野、東吾野、原市場、南高麗（上直竹）名栗地域の光ファイバー通信網の未整備地区への早期整備を事業者に要望するために、自治会をおして加入希望をとりまとめた結果が明らかにになりました。

この調査によると希望世帯は、対象自治会員五五九八世帯に対し、六八二世帯で希望割合は、一二・二%でした。

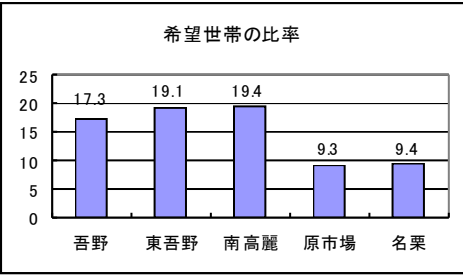
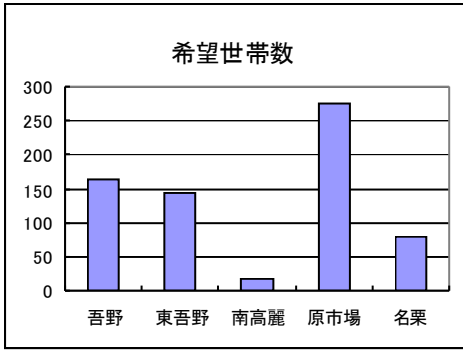
もっとも希望が多い地域は、原市場で二七六世帯（九・三%）、続いて吾野一六四世帯（一七・三%）、東吾野一四五世帯（一九・一%）、名栗七九世帯（二二・二%）、南高麗上直竹地域九三世帯（一九・四%）となっています。

希望比率を大字単位で見ると最も高いのが中沢で六五・六%にも達し、続いて中藤上郷が四二・五%となっています。

インターネットの普及により、山間地域における光ファイバー通信網の期待が大きいことがわかります。

飯能市はこの結果を受けて、十二月二〇日に光ファイバー通信網サービスの事業者である、東日本電信電話株式会社に要望書を提出し、NTT側も具体的な検討を進めると言うことです。

今後、光ファイバー通信網を活用した山間地域の振興策の検討が求められます。



東京大空襲の悲惨さを実感

東京大空襲戦災資料センター見学

一月八日、映画サークルの有志二十四名は、東京大空襲戦災資料センター見学とエッセイストの海老名香葉子さんが、上野公園に建てた母子像「時忘れじの塔」

塔への献花を行いました。この計画は、十月十五日アニメ映画「あした元気になあれ」の成功から「東京大空襲をもっと学ぼう」の気持ちからでした。

戦災センター（館長 作家の早乙女勝元氏）は、二〇〇二年に建てられたものでビデオでの学習、資料等に、参加者は「わかっているつもりでだったが、見学することによりさらに、戦争の悲惨さがかかった」「犠牲はいつも子ども、年寄りでも万人という死者のものすごさがわかった」と改めて反戦と平和の気持ちをも固めた一日でした。



時忘れじの塔

佐藤弘

清流道場のご案内

清流道場は、サラ金などの多重債務で困っている方を、自らの手で立ち直れるよう援助する道場です。毎週、水曜日に民商事務所で開催しています。一人で悩んでいないでお気軽に相談ください。

連絡先：飯能民商

972-4432



第7回

なんでも相談会

相談無料

とき **2月19日** (日) 午前10時~午後3時

ところ **一丁目クラブ** (稲荷町消防分署南・飯能駅徒歩5分)

リストラ、サラ金、不払い、年金、国保税滞納など何でもお気軽にご相談ください。弁護士、税理士、社会保険労務士など法律・税務・年金などの専門家と日本共産党の4名の市議会議員が対応します。



共催：飯能民商、飯能日高土建飯能支部、清流道場、日本共産党飯能市議団